-	□ 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
6	現場打開水路		± v, 20	, ± , 30	基準高、幅、厚さ、高さ については施工延長1
水		·····································	. + 4. 25 4. 15	25	スパンにつき 1 箇所の割合で測定する。
路		厚さ(T)	.+4. 204. 13	z - zz 20	中心線のズレ(直線部) については施工延長お
エ		高さ(H)	,±0. 15	25	おむね 50mにつき 1 箇 所の割合で測定する。
事		中心線の	直線部 ± 35	直線部 ± 50	なお、中心線のズレ(曲 線部)については1スパンにつき1箇所の割合
		ズレ(e)	曲線部 ± 65	曲線部 ± 100	で測定する。 上記未満は2箇所測定
		スパン長	直線部 ± 13	直線部 ± 20	する。
		(L)	曲線部 ± 20	曲線部 ± 30	
		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 150m未満 - 150	
	現場打サイホン	基準高(V)	,±., 30	, ± , 50	上記と同一。
		幅(B)	.+4. 204. 13	z - zz 20	
		厚さ(T)	. + 20 13	20	
		高さ(H)	,±., 13	20	
		中心線の ズレ(e)	直線部 ± 35	直線部 ± 50	
			曲線部 ± 65	曲線部 ± 100	
		スパン長 (L)	直線部 ± 13	直線部 ± 20	
		(上)	曲線部 ± 20	曲線部 ± 30	
		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 150m未満 - 150	

***	TE -	<u>_</u>		
管		式		
管理図表に	結果一覧表	構造図に朱		
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		
2-2)				
基準高、幅、	左記のもの			スパン長の標
厚さ、高さ、	で 20点未満		Ę	準を9mとし
中心線のズ	のもの及び		!	た場合。
レ、スパン	施工延長		e ¡¦	
長で 20 点			$\begin{bmatrix} T_1 \\ B_1 \end{bmatrix}$	
以上のもの			 	
			T ₃	
			$\begin{bmatrix} T_4 \end{bmatrix}$ B_2 $\begin{bmatrix} T_5 \end{bmatrix}$	
			- 2 · 5	
基準高、幅、	左記のもの		c	スパン長の標
厚さ、高さ、	で 20点未満		<u> </u>	準を9mとし
中心線のズ			B	た場合。
レ、スパン	施工延長			
長で 20 点				
以上のもの			T_3	
			│	
			$ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad$	
			l;	

=	工 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
6	現場打暗渠	基準高(∀)	.±., 20	, ± , 30	基準高、幅、厚さ、高さ については施工延長1 スパンにつき1箇所の
路		幅(B)	.+ 20 13	20	割合で測定する。中心線のズレ(直線部)については施工延長お
工事		厚さ(T)	.+4. 204. 13	20	おむね 50mにつき 1 箇 所の割合で測定する。 なお、中心線のズレ(曲
		高さ(H)	.±. 13	20	線部)については1スパンにつき1箇所の割合で測定する。 上記未満は2箇所測定
		中心線のズレ (e)	直線部 ± 35	直線部 ± 50	する。
			曲線部 ± 65	曲線部 ± 100	
		スパン長(L)	直線部 ± 13 曲線部 ± 20	直線部 ± 20 曲線部 ± 30	
		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 150m未満 - 150	

管		式		
管理図表に	結果一覧表	1		
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘 要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		, iii
2-2)	(13.200.)			
基準高、幅、	左記のもの			スパン長の標
厚さ、高さ、	で20点未満			準を9mとし
	のもの及び		6	た場合。
レ、スパン	施工延長		\mathcal{L}_{1}	7C-% II.
長で 20 点	1012C		B 12	
以上のもの				
· 次王35 G 65				
			T_3	
			н	
			ļ.	
			lį.	

-	□ 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
6 水	鉄筋コンクリ ート大型フリ ューム	基準高 (V)	, ± 0, 20	, ± a, 30	基準高、中心線のズレ (直線部)については施 工延長おおむね 50mに つき 1 箇所の割合で測
路	鉄筋コンクリ ートL形水路	幅(B)	.+ 2515	25	定する。 定する。 中心線のズレ(曲線部)
工事		厚さ(T)	.+ 2015	20	についてはおおむね 10 mにつき 1 箇所の割合で測定する。
		中心線の ズレ(e)	直線部 ± 35 曲線部 ± 65	直線部 ± 50 曲線部 ± 100	上記未満は2箇所測定する。 幅、厚さについては施工延長50mにつき1箇所の割合で測定する。
		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 150m未満 - 150	上記未満は2箇所測定する。
	ボックスカル バート水路	基準高 (V)	, ± , 20	, ± , 30	基準高、中心線のズレ (直線部)については施 工延長おおむね 50mに
		中心線の ズレ(e)	直線部 ± 35 曲線部 ± 65	直線部 ± 50 曲線部 ± 100	つき 1 箇所の割合で測定する。 中心線のズレ(曲線部) についてはおおむね 10 mにつき 1 箇所の割合
		施工延長		- 0.1%、 ただし延長 150m未満 - 150	で測定する。 上記未満は2箇所測定 する。

管		式		
管理図表に				
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘 要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		, iii
2-2)	(13124 5 1)			
基準高、幅、	左記のもの			幅、厚さはL
厚さ、中心				形水路のみ測
線のズレで			L	定する。
20 点以上の			e	
もの				
			В	
			1	
基準高、中	左記のもの			
□≪平同、下	で20点未満			
で 20 点以	のもの及び		6	
上のもの	施工延長		<u>Q</u>	
			<u> </u>	
			"	